



いつまでも健康で心豊かな生活を送りたい。それは、誰もが願うことです。区内では、多くの人とふれあい、そんな願いをかなえながら生き生きと暮らしているお年寄りがたくさんいます。今月は、その中のお二人を訪ねました。

行政相談



「ありがとう」がうれしくて

行政相談委員

片岡 かたおか
和枝 かずえさん (70)

「どのようなことでお困りですか」と、相談に訪れた人に気さくに声を掛け、笑顔で応じているのは、行政相談委員の片岡和枝さんです。

行政相談委員とは、総務大臣より委嘱を受けた人で、国やその関係機関などの仕事に関する苦情や要望を受け付け、公正・中立の立場でその解決や実現のために働き掛けを行っています。平成元年から任に当たる片岡さんは、現在に至るまでの十四年間、自宅や区役所などでさまざまな相談を受け続けています。特に区役所の相談コーナーには多くの人が訪れるので、人生相談や悩みごと相談などを受けられることもしばしばあるとか。そんなときでも、片岡さんは親身になってじっくりと話を聞くようになっているそうです。「ただ話を伺いするだけでも、相談

に来た方の気持ちも軽くなることがありますから」と、優しい笑みを浮かべます。

また、昭和五十一年からは「広報さつぽろ」の音訳テープを作製し、目の不自由な方などに送付するボランティア活動にも取り組んでいます。片岡さんに、これらの活動を長く続ける秘けつを尋ねると、「特別な秘けつなんて何もありませんよ。ただ、少しでも人さまのお役に立てたときに、『ありがとう』と言われることが、何よりうれしいだけなんです」と教えてくれました。

片岡さんにとっては、感謝されるのが仕事の喜び、ひいては生きがいにつながっているようです。いつまでも元気に仕事を続けていられるのは、こうした生きがい、心の糧となっているからなのでしょう。

ふれあいは